



横須賀・三浦放射線技師会報

Vol.38 - 3 MAR.2015

120



<発行元> 横須賀・三浦放射線技師会 広報

<発行元住所> 神奈川県横須賀市米が浜通 1-16

Photo by T.Kubo

CONTENTS

「平成26年度 総会特集号」

巻頭言	2	被ばく医療報告	7
平成26年度総会開催のご案内	3	スクリーニング講習会参加記	7
平成26年度総会式次第	4	新入会員紹介	8
庶務報告	5	会員投稿	8
福利厚生報告	5	広報より	8
学術研究会報告	6		

巻頭言



横須賀・三浦放射線技師会 副会長 須藤 敏

厚さ 6.1mm M8 モーションコプロセッサ、A8X チップ、Wi-Fi + Cellular 64GB これが私の新しい相棒だ。以前使用していたアンドロイドタブレットを買い替え、昨年 12 月から使用している。今までのアンドロイドは値段で決めたため、人気があまりない機種で、付属品の候補が少なくケースも選択の余地がなかった。次に買う機種は人気がある機種に決めていた。そのためマニュアル本、アプリの種類、ケースなども多く迷うほどだった。カレンダーに予定を入力、メモの会議録を入力、撮影した画像を貼り付け、メール使い……。説明書、ネットを参考に使い方を学んでいる。それでも、毎日触ることが大事と考え、肌身離さず携帯している。慣れて、使いこなせる事を目標に……がんばっている。

2012 年度の診療報酬改定で専従放射線技師が明記された、MRI、CT 装置において撮影手技の難易度を考慮して設定されたと聞く。それだけ、高度な装置を使いこなす必要があると考えられている。専従技師は装置のマニュアルを読み、操作して機器を使いこなさなければならない。

啓蟄の頃 今年度もあと少しだ、おとしは心カテ装置が稼働した、去年は 3.0TMRI 装置が稼働した、今年 320 列 CT 装置が稼働する。Area Detector CT が稼働する、これまでの 64 列 CT には無い、新しい装置、新しい技術が入ってくる。CT 専従放射線技師は当然だが装置に熟知してもらいたい。320 列 CT は時間外の稼働も想定している、新しい装置で新しい技術で患者さんを撮影する。そして救急検査等で 320 列 CT を使用する私たちも装置に慣れなければならない。興味をもって、装置に触れ、使いこなし、あらゆる場面での的確な画像を提供できるようにならなければならないと思っている。

会員 各位

平成26年度総会開催のご案内

横須賀三浦放射線技師会事務局

平成26年度本会総会を下記の通り開催致します。
何卒ご出席いただきますようご案内申し上げます。
尚、本総会終了後 懇親会を行います。
こちらにも多数のご参加をお願い申し上げます。

記

日時 平成27年3月14日(土) 15:00～
会場 セントラルホテル 5F エメラルド

懇親会 17:00～
会場 セントラルホテル 5F ルビー
懇親会会費 5000円

準備の都合上、3月6日(金)までに本会事務局まで出欠をお知らせください。
懇親会出席申し込みされた方は、当日欠席されても懇親会会費は徴収させていただきますので、悪しからずご了承ください。
当日、来年度分の会費納入も受付致します。

横須賀三浦放射線技師会事務局
〒238-8558 横須賀市米が浜通1-16
横須賀共済病院 中央放射線科内
046-822-2710 Mail ymart001@ymart.jp
庶務：濱田順爾、菅原保富、村雲俊広、大澤進冨



平成26年度総会式次第

平成27年3月14日(土) 15:00~

於：セントラルホテル 5F エメラルド

- 一、 開会の言葉
- 一、 会長挨拶
- 一、 会員表彰
- 一、 来賓祝辞
- 一、 議長団選出
- 一、 議 事

平成26年度事業報告

庶務報告

学術報告

福利厚生報告

広報報告

Y M B I T 報告

救急医療報告

緊急被ばく医療報告

組織委員報告

平成26年度会計決算報告

一般会計決算報告

救急医療会計決算報告

平成26年度会計監査報告

平成27年度事業計画案

平成27年度会計予算案

一般会計予算案

救急医療会計予算案

その他

- 一、 議長団解任
- 一、 閉会の言葉



庶務報告 (2014/11/09 ~ 2015/03/14)

- 平成 26 年 10 月 16 日 第 3 回三役会開催 (衣笠)
- 平成 26 年 10 月 28 日 広報紙 No.119 発行
- 平成 26 年 10 月 30 日 第 3 回理事会開催 (横共)
深瀬裕美氏 (ふかせひろみ・横浜南) 入会
- 平成 26 年 11 月 01 日 神奈川県放射線管理士部会主催第 6 回管理士セミナーに NAS チームとして
濱田理事参加 (甲府)
- 平成 26 年 11 月 08 日 第 10 回スクリーンニング講習会開催 (横共)
横須賀市医師会平成 26 年度災害救護訓練に加々美理事、
山本会員 (湘南) 参加
- 平成 26 年 11 月 09 日 横浜南部地区技師会創立 25 周年祝賀会の開催案内受理
- 平成 26 年 11 月 15 日 横三らせん CT 研究会開催 (セントラル H)
- 平成 26 年 11 月 16 日 Y2MN 杯開催。服部相談役、二田監査役、松田文雄会員の 3 名参加
- 平成 26 年 11 月 22 日 学術企画第 115 回研究会開催 (ヴェルクよこすか)
- 平成 26 年 11 月 27 日 第 2 回救急センター連絡会議開催 (ヴェルクよこすか)
- 平成 26 年 12 月 06 日 福利厚生企画ボーリング大会 & 忘年会開催
横浜南部地区技師会創立 25 周年祝賀会開催
横浜南部地区技師会創立 25 周年祝賀会へ祝電を打電"
- 平成 26 年 12 月 10 日 名誉会員渡邊東洋雄氏逝去の報を受理
(家族の意向により訃報連絡網は使用せず)
- 平成 26 年 12 月 16 日 会員 男鹿眞幸氏 (パシフィック) より現職場退職の報告を受理
- 平成 26 年 12 月 24 日 横須賀三浦地区横浜南部地区合同勉強会開催案内を受理
- 平成 26 年 12 月 29 日 第 4 回三役会、第 4 回理事会 & 賀詞交換会の開催案内をメール配信
横須賀三浦地区横浜南部地区合同勉強会開催案内をメール配信
- 平成 27 年 01 月 10 日 横須賀市医師会賀詞交換会へ羽布津会長出席
- 平成 27 年 01 月 14 日 K A R T 新春情報交換会へ羽布津会長・松村副会長が出席
- 平成 27 年 01 月 15 日 第 4 回三役会開催 (衣笠)
- 平成 27 年 01 月 24 日 第 4 回理事会 & 賀詞交歓会開催 (産業交流プラザ)
- 平成 27 年 02 月 14 日 横須賀三浦地区横浜南部地区合同勉強会開催 (南共) 勉強会参加者
(会員 60 名、賛助会員 12 名) 懇親会参加者 54 名
- 平成 27 年 02 月 26 日 第 3 回救急センター連絡会議開催 (ヴェルクよこすか)
- 平成 27 年 03 月 14 日 平成 26 年度横須賀三浦放射線技師会総会 & 懇親会開催予定
(横共 & セントラル H)
- < 会員数 154 名 賛助会員 21 社 >

福利厚生報告

湘南病院 戸高 拓朗

H26 年 12 月 6 日、毎年恒例となりますボーリング大会をショッパーズ
スポーツ横須賀にて、忘年会を木村屋本店にて執り行いました。参加人
数はボーリングが会員 20 名、賛助会員 5 名、忘年会は会員 33 名、賛助
会員 6 名でした。少人数ではありましたが、皆様のご協力もあり、盛り
上がる事が出来たのではないかと思います。

今年はいろんなことに挑戦してきました。評価できること反省するこ
とたくさんありました。それを来年度にも生かし、また新しいことをど
んどん取り入れてチャレンジ精神で臨みたいと思います。



学術報告

横須賀市立市民病院 加々美 充

第 115 回研究会を、H26.11.22 (土) にヴェルクよこすか 6F 第 1 会議室で開催しました。
参加人数は 24 人 (会員 19 名 賛助会員 5 名) でした。

- | | | |
|------------------------|--------------|---------|
| 1. 『バリウム・発泡剤の基本特性』 | 堀井薬品工業株式会社 | 八木 崇 氏 |
| 2. 『高濃度低粘性バリウム造影剤の特性』 | カイゲンファーマ株式会社 | 西村 正生 氏 |
| 3. 『伏見製薬の製剤について』 | 伏見製薬株式会社 | 鈴木 紫方 氏 |
| 4. 『当院の誤嚥対策について』 | 金沢病院 | 木下 翔 氏 |
| 5. 『当院における上部消化管検診について』 | 衣笠病院 | 田中 裕樹 氏 |

テーマを『MDL』として 5 演題の発表がありました。

前半 3 演題はバリウムメーカー各社の製品・その特性などについて臨床画像を交えてわかりやすい話でした。

木下氏からは誤嚥時の対処法 (手技・フローなど) について非常に参考になる内容でした。誤嚥の対応は自施設でも話題になったばかりであった事もあり、お話しいただいた事を活用したいと思いました。

田中氏からは自施設で行っている撮影法やレポートについて、症例の提示もあり勉強になる内容でした。質疑応答では各施設の現状も見えたので充実した研究会になったと思います。

平成 26 年度横浜南部地区・横須賀三浦地区放射線技師会合同勉強会を、H27.2.14 (土) に横浜南共済病院新病棟東棟講堂にて開催しました。

参加人数は 72 人 (会員 60 名 賛助会員 12 名) でした。

第 1 部 講演

「ガドリニウム沈着から考える MR 造影剤の選択」 NSF から歯状核へ

横浜南共済病院放射線科部長 池上 匡 先生

第 2 部 会員発

- | | | |
|---|---------------|---------|
| 1. 当院における低電圧 CT の有用性について | 横浜栄共済病院 | 保田 英志 氏 |
| 2. 冠動脈 CT 撮影時における短時間作用型 1 遮断薬コアベータの使用経験 | 横須賀共済病院 | 早川 智之 氏 |
| 3. 造影超音波の基礎 | 横須賀市立うわまち病院 | 小原 和史 氏 |
| 4. 厚生労働省標準規格 JJ1017 を採用しての使用経験 | 神奈川県立精神医療センター | 小畑 欣也 氏 |

- 池上先生からは MRI・造影剤業界では今年度最大のトピックスであった小脳の歯状核へのガドリニウムの沈着に関するテーマを説得力のあるデータで非常にわかりやすくお話しいただきました。リニア型の危険性、マクロ冠型でも製剤によって副作用の発生等に違いがある事が深く理解できたと思います。
- 会員発表では低電圧 CT 撮影の有用性を安全性に活かす方向に使用する事、またコアベータは難易度の高い症例でも薬理効果通りの心拍変動を呈し、装置性能、撮影手技との組み合わせる事により有用性の高い事が理解できました。
- 超音波造影の貴重な症例を動画で見られる機会は少なく、造影剤の特徴・手技と共に非常に勉強になる内容でした。
- JJ1017 という規格に関しては近い将来一般的なものになり自施設での導入があった際には、ここで聞いたことが役に立つのであらうと思いました。

勉強会後に懇親会が横浜南共済病院 管理棟 4 階大講堂で行われ多くの参加者でにぎわっていました。



被ばく医療報告(スクリーニング講習会)

横須賀市保健所 井上 晴行



平成26年11月8日、第10回スクリーニング講習会を開催しましたので、報告します。前半は、福島第一原発事故後の活動として、除染の方法、住民の不安解消法、放射線技師としての役割等ご講義を頂きました。後半はサーベイメータの使用法やセグメント法の実践演習を行いました。当日はスクリーニング初心者も含め、39名の参加があり、過去最大の参加者数でした。尚、今回の講習会より、参加者にはJARTの生涯教育ポイントが付与されることになりました。



毎年、JARTの学術大会で、セグメント法の紹介等を行っています。今年は、JART災害対策委員会の方で、今後セグメント法を書面でマニュアル化し、会員に周知させるようなお話も頂きました。又、神奈川県管理士部会とも協力して、他県での講演も積極的に行っています。その甲斐もあって徐々にNASチームの知名度も上がり、今回の参加者増に繋がっているのではないかと思います。今後もNASチームで力をあわせて、精力的に普及活動を行っていきたく思いますので、皆様ご協力をお願い致します。



スクリーニング講習会参加記

横須賀共済病院 水野 直人

平成26年11月8日に行われたスクリーニング講習会も本年度で第10回目を迎えました。福島第一原発事故での活動と原子力災害時の放射線技師の役割についての講演では、東日本大震災時の実際について知ることができ放射線技師として自分にできることを考える良い機会になりました。

その後の実際にサーベイメータを使っての実践演習では模擬線源を使ってのスクリーニングを行ったのですが、サーベイメータは学生時代に実験で少し触ったことのある程度だったので、取り扱い方、目盛の読み方等復習することができました。スクリーニングでは頭先から足先までサーベイするため、目盛とプローブの両方を見ながら屈伸運動をするように動かなくてはならず、さらにその動きを数百人に行うということでも体力のいる作業であることがわかりました。2、3回サーベイしただけでもサーベイメータを持つ腕がプルプルしてくるため一人当たりの時間を短縮できるセグメント法の有用性が理解できました。今後は放射線技師としての技術をさらに高め自分にできることを増やしていきたいと思ひます。



新入会員紹介



2014年10月より横浜南共済病院に入職しました、深瀬裕美です。新人として日々先輩方にご指導頂いています。アニメ、漫画大好きでインドア派ですが体を動かすことも好きでフットサルをほんの少しやっています。まだまだ、至らない所がありますが皆さん宜しくお願いします。

会員投稿

オイシカッタコース

OB倶楽部

■OB倶楽部

2014年12月、年一回は旅行せんと4人の仲間が沖縄に出かけた。全員男性。OB倶楽部と称する。(OB倶楽部：お達者ボウイズクラブ、頭

文字をとってOB倶楽部。もともとは技師会ゴルフ仲間の集団で、ゴルフ用語アウト・オブ・バウンズのOBだった。)4人の年齢を合計すると272年。

■メンバー

観光旅行なのだが、先先の酒、地酒を嗜むのが目的といってもいいこの集団。普段K村先生はウヰスキー、M井先生はどんな酒でも上品に、N倉先生は専ら日本酒、C葉はどんな酒でもだらしなく飲んで日々生きているが、旅に出るとその地の酒しか口にしないのがOB倶楽部。今回は沖縄なので泡盛、何年も寝かせた古酒(コースと読む)がいいらしい。我等も64年から72年も熟成され、年数ではコースに勝る。味のほうはといえば、これは自分の口からはね。アクが強いだけだという声もあるようだが、熟成した耳は遠くなり、物忘れさえある。

■ミーティング

企画はC葉が担当したが、いつまでも愚図愚図しているのでN倉先生がパンフを用意してくれるのはいつものこと。早速いつもの店でミーティング。まだ口にしてないコースにヨダレして徳利を沢山寝かせる。遙か南の島、沖縄。どんな服装?と心配するK村先生、お洒落だから。今夜も上品だが少しピッチの上がるM井先生は、半袖でいいんじゃないの?と答える。いつだって愛用のカメラを忘れることはない。N倉先生が以前訪ねたという那覇市国際通りのナントカという店へ糞出しコースを飲みに行くことにした。胸躍り舌が鳴る。好奇心というか妄想というか、いずれにしたって人はいくつになってもワクワクしなければならない。羽田空港行の電車を確認して解散。

出発前日にはN倉先生からさらに確認のメール。年齢を重ねると脳には知識が充満して新しい情報が入りにくくなるもんだから、確認は何度も必要となる。

■いよいよコース

出発当日昼、羽田空港で空弁焼きサバ寿司をつまみながら少し飲む。機上でもビールとか赤ワインを頼む。ほかの客には決して迷惑をかけない。横須賀三浦放射線技師会会員だもの。小さなボトルとはいえ赤ワイン3本は多いんじゃないのN倉先生、と言ったら、この後はホテルにいくだけだから、とプラスチック製コップと4Kビデオカメラは手放さない。那覇空港到着。手荷物も受け取っていないというのに空港売店でコースを物色する。夕食の時も飲むけど、その後ホテルの部屋でもう一度乾杯しなければならないから。手に入れた瑞泉という8年物1本、アルコール度数40度。いよいよコース。



万座毛

勝連城跡

美ら海水族館

■旅はおわり...

4日後帰還。横須賀は雨、沖縄は晴れて暖かかったな。丁度夕方だったのでいつもの店で徳利を頼む。いつもの女店員さん今日は冷たいね、とシヤイなお達者ボウイズ。日本酒とアジ寿司は旨いな、といつものお達者ボウイズ。添乗員さんとバスガイドさん可愛かったよな、安里屋ユンタも歌ってくれたし、と部分的にしか思い出せないお達者ボウイズ。今度はどこへ行くのやら。

コースはどうだったって?

ハンチング戴きましたよ。クワッチーサビタン!

広報より

広報では原稿を募集しています。内容は問いません。匿名・ペンネームでの掲載も可能です。皆様からの投稿をお待ちしています。

NO.120 Vol.38-No.3 MAR.2015 横須賀三浦放射線技師会会報
2015年3月5日発行 編集/発行/印刷/製本 広報部
広報担当 : 久保隆(三浦市立病院)
齋藤正樹(浦賀病院)
壺川貴子(横須賀共済病院)